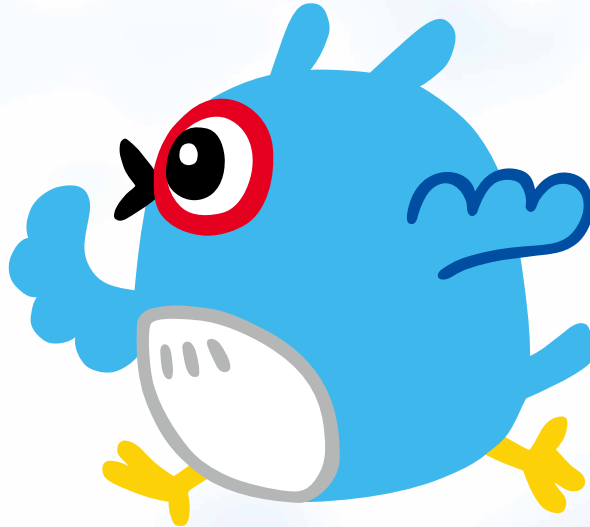


沖縄海邦銀行

# 第73期 営業のご報告

2019年4月1日から2020年3月31日まで  
(2020.3 ミニディスクロージャー誌)



OKINAWA  
KAIHO

## 当行の概要 (2020年3月31日現在)

創 立	1949年5月1日
設 立	1964年4月2日
資 本 金	45億37百万円
本 店	〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2丁目9番12号 電話番号 (098) 867-2111 (代表)
店 舗 数	50店舗 (うち出張所2店舗)
従 業 員 数	866名
株 主 数	2,318名
ホームページアドレス	<a href="https://www.kaiho-bank.co.jp">https://www.kaiho-bank.co.jp</a>

## CONTENTS (目次)

ごあいさつ	… P 1
経営方針	… P 2
トピックス	… P 4
C S R・地域貢献活動	… P 8
業績ハイライト	… P 12
第73期財務諸表 (単体)	… P 14
第73期財務諸表 (連結)	… P 15
役員、株式のご案内	… P 16
かいぎんのネットワーク	… P 17



代表取締役頭取 上地 英由

皆さまには、平素より私ども沖縄海邦銀行をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに2019年度(73期)の営業の概況と決算状況についてご報告申し上げます。当行について、より一層のご理解をいただくための参考となれば幸いに存じます。

2019年度の国内景気につきましては、年度前半から全体として緩やかに拡大してきましたが、年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響による自粛ムードの高まりから、サービス関連の需要が大幅に減少し、景気は大きく下振れする動きが見られます。

県内景気についても年度前半までは好調に拡大してまいりましたが、年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な業種において景況感が急速に減少し、厳しい状況になるなど、景気は大きく下振れする動きが見られます。今後の県内景気、国内景気および海外経済の動向に注視する必要があります。

金融機関においては、人口減少・高齢化社会の影響による市場縮小や低金利環境の継続を背景に年々厳しい状況にあります。

そのような中、地域金融機関は持続可能なビジネスモデルを構築し、将来にわたる健全性を確保するとともに、地域における金融仲介機能を継続的に発揮することが求められています。

当行は、このような環境のもと、2020年4月から2022年3月までの2年間について、第16次中期経営計画「継続と深化」を策定しました。「安定した経営基盤の確立」「金融サービスの強化」「人と組織の強化」を基本方針とし、前中期経営計画で確立したビジネスモデルをベースに、お客さま本位の良質な金融サービスを提供するため、時代にあった営業態勢や組織体制へ大きく深化することを目指します。

その結果、経営理念である「地域密着」「健全経営」「人材育成」を具現化し、安定した経営基盤と収益を確保しつつ、お客さまや地域の成長と発展に寄与します。

これからも地域に根ざしたより良い金融サービスを提供し、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2020年6月

## 第16次中期経営計画 (2020年4月～2022年3月)

第16次中期経営計画では、前中期経営計画で確立したビジネスモデルをベースに、お客さま本位の良質な金融サービスを提供するため、時代にあった営業態勢や組織体制へ大きく深化することを目指します。

### キャッチフレーズ

「継続と深化」

### 当行の目指す姿

「お客さまのお役に立てる一番身近な  
銀行(コンサルティングとICTの融合)」

### 基本方針・重点施策

当行の将来を見据え、  
持続可能性のある  
ビジネスモデルを確立する

## I 安定した経営基盤の確立

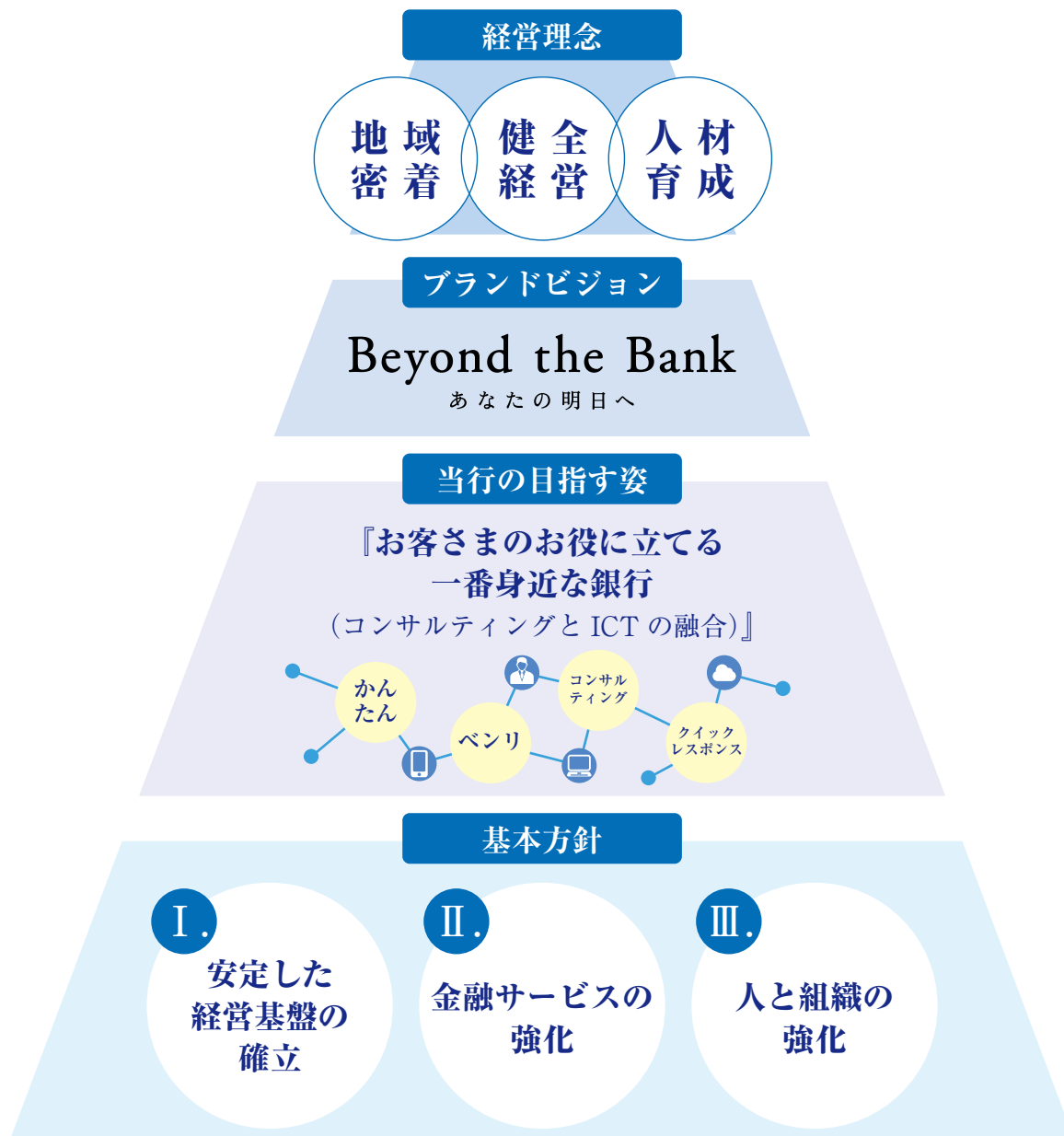
1. 収益構造の改善
2. コンプライアンス・リスク管理の強化
3. 内部監査態勢の強化

## II 金融サービスの強化

1. 金融仲介機能と顧客本位業務の発揮
2. かんたんベンリの実現

## III 人と組織の強化

1. 営業態勢の見直し・強化
2. 人事態勢の整備
3. 人材育成
4. かいぎんブランドの浸透



# トピックス

## 沖縄県「農家民宿一期一会創造事業」への参画

当行の「Team Beyond the Bank (TBB)」メンバーが沖縄県の「農家民宿一期一会創造事業」に参画し、北部三村の地元事業者、自治体、商工会連合会および沖縄県よろず支援拠点等と連携して北部地域の活性化に取り組んでいます。

今後も北部各地域へ直接訪問し、これまでの銀行業務の枠組みを超えた新しい形での地域や事業者との関わり方を探り、伴走型支援の取組みを強化していきます。



## 沖縄大交易会2019への参画

2019年11月14日(木)、15日(金)、沖縄コンベンションセンターにおいて「沖縄大交易会2019」が開催されました。

今回の大交易会では、「食」をテーマに329社のサプライヤーと293社のバイヤーが一堂に会し、国内最大級の商談会となりました。

当行も大交易会の会員企業として参画し、5名の行員を運営スタッフとして派遣しました。



## かいぎんビジネス倶楽部「特別記念講演会」を開催

2019年11月21日(木)、かいぎんビジネス倶楽部「特別記念講演会」を開催しました。講師に野球評論家の桑田真澄氏をお招きし、「試練は人を磨く」をテーマに多数の会員の皆さまにご参加いただき、大盛況となりました。



## よろず支援拠点サテライト相談会

沖縄県よろず支援拠点による「よろず支援拠点サテライト相談会」が開催されています。

「よろず支援拠点」とは、国が設置した中小企業・小規模事業者の様々な悩みに応える相談窓口です。無料で何度でも相談することができ、公的支援機関とも連携しています。

相談会開催日: 毎月第2木曜日 10:00~16:30  
(要予約: 1回の相談時間は1時間となります)

開催場所: 営業店  
(開催店舗の確認はソリューション営業部へお問い合わせください)



## かいぎんビジネスセミナー開催

当行では、毎月、「かいぎんビジネスセミナー」を開催しています。新社会人向けの基礎研修から労務管理、税務・経理など実務的な内容で幅広くテーマを設定しており、ご好評をいただいています。

これからも当行は、お客さまに役立つ情報の提供を続けていきます。

# トピックス

## ITコーディネーター沖縄との連携協定を締結

2019年12月17日(火)、NPO法人ITコーディネーター沖縄と連携協定を締結しました。

本連携は人材不足や生産性向上などの経営課題を抱える事業者に対してIT導入を支援することを目的としており、同法人と県内4金融機関の連携を中心に様々な支援機関と協力して専門家派遣などのサポートに取り組みます。



## 産業雇用安定センターとの連携協定を締結

2020年3月5日(木)、公益財団法人産業雇用安定センターと連携協定を締結しました。

本連携は取引先の人材不足に対する支援を推進し、地域における労働需給の安定、持続的な企業の成長に資することを目的としており、取引先が抱える様々な経営課題を解決するため積極的なサポートに取り組みます。





## 新CM放送開始

イメージガールの池間夏海さん出演の当行の新CMが放送開始となりました。

「お仕事体験記」編として、訪問先の事業者からお話を聞きつつ、実際に職場の方々と一緒に働くことで「お客さまと共に成長していく」というイメージCMとなっています。

池間さんの明るく元気に頑張る姿を通してお客さまの夢を全力で応援したいという当行の思いが込められています。



# CSR・地域貢献活動

## みどりの運動

当行は、40年以上にわたり「みどりの運動」を展開しています。「沖縄をみどりの島に！緑と花で心にやすらぎを！」のキャッチフレーズで、郷土に緑と花を増やし、安らぎのある街づくりに取り組んでいます。

### みどりの講演会

毎月、郷土のみどりについて、森林資源や園芸など、多彩なテーマで「みどりの講演会」を開催しています。昭和49年から開催しており、開催回数は500回を超えています。講演会参加者には、苗木の無料配付を行っており、これまで6万本以上を配付しました。

開催場所：沖縄海邦銀行本店

開催日：原則毎月第4金曜日 午後3時より



## みどりの募金

役職員からの募金やみどりの運動に賛同して下さったお客さまからの募金を緑化運動として寄付を行っています。これまでの募金総額は1億円を超えています。



## 育樹活動

2019年11月9日(土)、浦添市の浦添カルチャーパークにて開催された「令和元年度緑の育樹祭」(沖縄県緑化推進委員会・浦添市共催)に参加しました。

2019年11月30日(土)、糸満市の沖縄県平和創造の森公園内に造成された「かいぎん平和の森」において第3回目の育樹祭を開催しました。



## 沖縄県緑化功労賞を受賞

2019年12月15日(日)、「第43回全国育樹祭式典」が沖縄コンベンションセンターで開催されました。当行の永年に亘る「みどりの運動」を通じて緑化推進に貢献している功績が認められ、「沖縄県緑化功労賞」を受賞しました。



## 「チーム美らサンゴ」への参加

2004年より「チーム美らサンゴ」に参加し、サンゴ礁の再生・保全活動に取り組んでいます。

2019年10月12日(土)、台風接近に伴いサンゴ植え付け活動は中止となりましたが、当日はサンゴ礁の生態系再生に取り組む重要性について講演会などが開催され、当行行員が参加しました。



## 首里城復興支援募金箱の設置

2019年11月5日(火)、当行の営業店窓口において首里城復興支援募金箱を設置しました。地域に根ざした金融機関として、募金活動など、さまざまな活動を通して首里城の一日も早い復興に向けて全力で支援していきます。



# CSR・地域貢献活動

## 観月の夕べへ参加

2019年10月5日(土)、赤道通り会の地域振興の一環として「観月の夕べ」が開催され、赤道支店の行員が参加しました。会場設営などのサポートを行い、地域の皆さまとの交流を深めました。



## メサイア演奏会への協賛

2019年11月15日(金)、第47回メサイア演奏実行委員会へ特別協賛金100万円を贈呈しました。「音楽を志す者の社会への奉仕と音楽文化の向上を目指し、広く県民へ鑑賞の場を提供する」との趣旨に賛同し、今回で28回目の協賛金贈呈となります。



## NAHAマラソンへボランティア参加

2019年12月1日(日)、第35回NAHAマラソンが開催され、当行役職員もボランティアとして参加しました。沿道での給水作業や交通整理のお手伝いを行い、熱い声援を送りました。



## かいぎんミュージックサークル

2019年12月21日(土)、「子どもたちに楽しいクリスマス」をテーマにかいぎんミュージックサークルによるチャリティーコンサートを開催しました。毎年12月のクリスマス前に開催し、今回で7回目となるこのコンサートで、チケット売上金全額を医療的ケアが必要な子どもたちの団体へ寄付しました。



## 沖縄花のカーニバルへの寄贈

2020年1月15日(水)、パレットくもじ前広場にて「第37回沖縄花のカーニバル2020」への協賛として、プランター100鉢を寄贈しました。



## 沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会

2020年2月29日(土)、3月1日(日)、第27回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会が開催されました。スポーツ振興を通じて地域振興、青少年の健全な育成を目的として、協賛金50万円を贈呈しました。



# 業績ハイライト

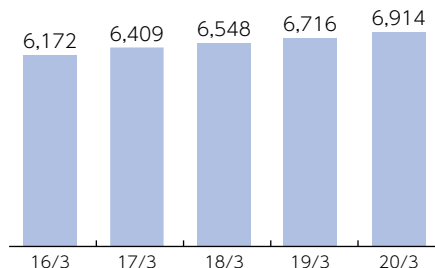
## 預金

6,914億円

預金残高は、個人預金および法人預金、公金預金が増加したことから、前年比198億5百万円増加の6,914億23百万円となりました。

預金期末残高

(単位:億円)



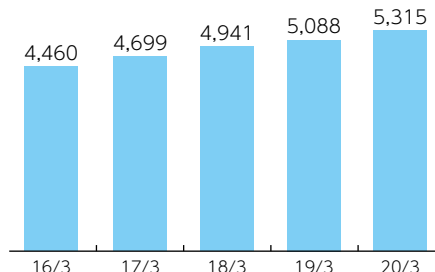
## 貸出金

5,315億円

貸出金残高は、不動産業や金融・保険業などの事業性貸出が増加したことなどから、前年比226億62百万円増加の5,315億56百万円となりました。

貸出金期末残高

(単位:億円)



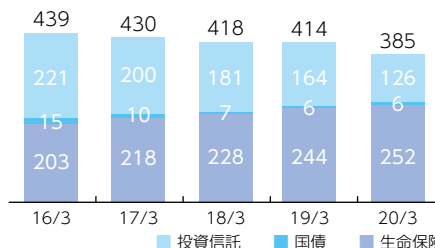
## 預かり資産

385億円

預かり資産残高は、生命保険および国債は増加しましたが、投資信託は減少しました。その結果、預かり資産残高は、前年比29億11百万円減少の385億45百万円となりました。

預かり資産期末残高

(単位:億円)



※記載金額は億円単位未満を切り捨てて表示しております。

## 経常利益

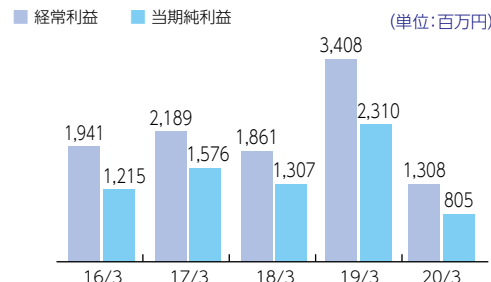
13億円

経常利益は、貸出金利息は増加しましたが、株式等売却益や償却債権取立益が減少し、新勘定系システムの稼働に伴う経費が増加したことなどから、前年同期比21億円減少の13億8百万円となりました。当期純利益は前年同期比15億5百万円減少の8億5百万円となりました。

## 当期純利益

8億円

### 経常利益・当期純利益

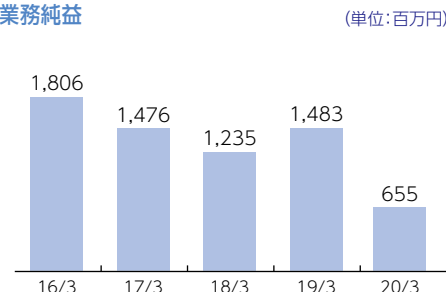


## コア業務純益

6億円

コア業務純益は、新勘定系システムの稼働による経費の増加などによって、前年比8億28百万円減少の6億55百万円となりました。

### コア業務純益

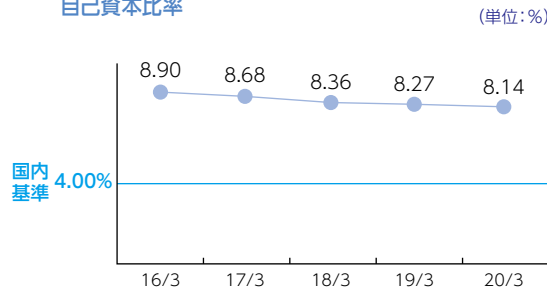


## 自己資本比率

8.14%

自己資本比率は、利益を積み上げましたが、貸出金が増加したことから前年比0.13ポイント低下の8.14%となりました。国内基準の4%を上回っており、安定した経営基盤を確保しています。

### 自己資本比率



## 用語解説

### ■コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から「一般貸倒引当金繰入額」や「国債等債券損益」など、一時的な要因を除いたものがコア業務純益となります。銀行の本来の業務から得られる利益を示すものです。

### ■自己資本比率

資産に対する自己資本の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。現在、当行のように海外に店舗を持たない銀行においては、その数値が4%以上であることが求められています。

# 第73期財務諸表(単体)

## ■ 貸借対照表 (2020年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>	
現金預け金	48,558
コールローン	435
有価証券	138,424
貸出金	531,556
外国為替	437
その他資産	11,659
有形固定資産	8,717
無形固定資産	1,532
前払年金費用	435
支払承諾見返	664
貸倒引当金	△ 1,847
資産の部合計	740,573
<b>(負債の部)</b>	
預金	691,423
その他負債	3,734
賞与引当金	356
退職給付引当金	659
役員退職慰労引当金	180
睡眠預金払戻損失引当金	48
偶発損失引当金	101
繰延税金負債	249
支払承諾	664
負債の部合計	697,469
<b>(純資産の部)</b>	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	32,783
自己株式	△ 25
株主資本合計	40,514
その他有価証券評価差額金	2,589
評価・換算差額等合計	2,589
純資産の部合計	43,103
負債及び純資産の部合計	740,573

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 損益計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	13,000
資金運用収益	10,685
うち貸出金利息	9,786
うち有価証券利息配当金	865
役員取引等収益	1,238
その他業務収益	119
その他経常収益	956
経常費用	11,691
資金調達費用	173
うち預金利息	197
役員取引等費用	1,230
その他業務費用	17
営業経費	9,833
その他経常費用	436
経常利益	1,308
特別損失	131
固定資産処分損	36
減損損失	95
税引前当期純利益	1,176
法人税、住民税及び事業税	190
法人税等調整額	180
法人税等合計	371
当期純利益	805

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## ■ 連結貸借対照表 (2020年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>	
現金預け金	48,558
コールローン及び買入手形	435
有価証券	138,340
貸出金	531,556
外国為替	437
その他資産	11,697
有形固定資産	8,718
無形固定資産	1,533
退職給付に係る資産	339
繰延税金資産	1
支払承諾見返	664
貸倒引当金	△ 1,847
<b>資産の部合計</b>	<b>740,435</b>
<b>(負債の部)</b>	
預金	691,277
その他負債	3,724
賞与引当金	360
退職給付に係る負債	656
役員退職慰労引当金	181
睡眠預金払戻損失引当金	48
利息返還損失引当金	13
偶発損失引当金	101
繰延税金負債	221
支払承諾	664
<b>負債の部合計</b>	<b>697,301</b>
<b>(純資産の部)</b>	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	32,845
自己株式	△ 25
株主資本合計	40,576
その他有価証券評価差額金	2,589
退職給付に係る調整累計額	△ 64
その他の包括利益累計額合計	2,524
非支配株主持分	32
<b>純資産の部合計</b>	<b>43,133</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>740,435</b>

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結損益計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
<b>経常収益</b>	
資金運用収益	10,685
うち貸出金利息	9,786
うち有価証券利息配当金	865
役員取引等収益	1,294
その他業務収益	119
その他経常収益	949
<b>経常費用</b>	<b>11,735</b>
資金調達費用	173
うち預金利息	197
役員取引等費用	1,233
その他業務費用	17
営業経費	9,837
その他経常費用	473
<b>経常利益</b>	<b>1,312</b>
<b>特別利益</b>	
固定資産処分益	-
<b>特別損失</b>	<b>131</b>
固定資産処分損	36
減損損失	95
税金等調整前当期純利益	1,180
法人税・住民税及び事業税	192
法人税等調整額	180
法人税等合計	373
<b>当期純利益</b>	<b>807</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	1
親会社株主に帰属する当期純利益	806

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結包括利益計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
当期純利益	807
その他の包括利益	△ 2,056
その他有価証券評価差額金	△ 1,828
退職給付に係る調整額	△ 228
<b>包括利益</b>	<b>△ 1,249</b>
親会社株主に係る包括利益	△ 1,250
非支配株主に係る包括利益	1

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結される子会社 2社

株式会社海邦総研

かいぎんカード株式会社

## 役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役頭取	うえ	ち	えい	ゆう
	上	地	英	由
代表取締役専務	こう	げ	ひで	お
	幸	家	秀	男
専務取締役	あら	かき		じゅん
	新	垣		淳
常務取締役	こ	じょう	せい	いちろう
	湖	城	誠	一郎
常務取締役	しん	じょう	かず	ふみ
	新	城	一	史
取締役	さき	はら	まさ	き
	崎	原	正	樹
取締役	あら	かき		まなぶ
	新	垣		学
取締役	おお	しろ	まさ	と
	大	城	昌	人
取締役	ひ	が	り	か
	比	嘉	梨	香
取締役	みや	お	なお	こ
	宮	尾	尚	子
常勤監査役	かね	しろ	けん	ゆう
	兼	城	賢	雄
監査役	おお	みね		みつる
	大	嶺		満
監査役	うえ	ず	とも	かず
	上	江洲	智	一

(注)取締役 比嘉 梨香及び取締役 宮尾 尚子は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

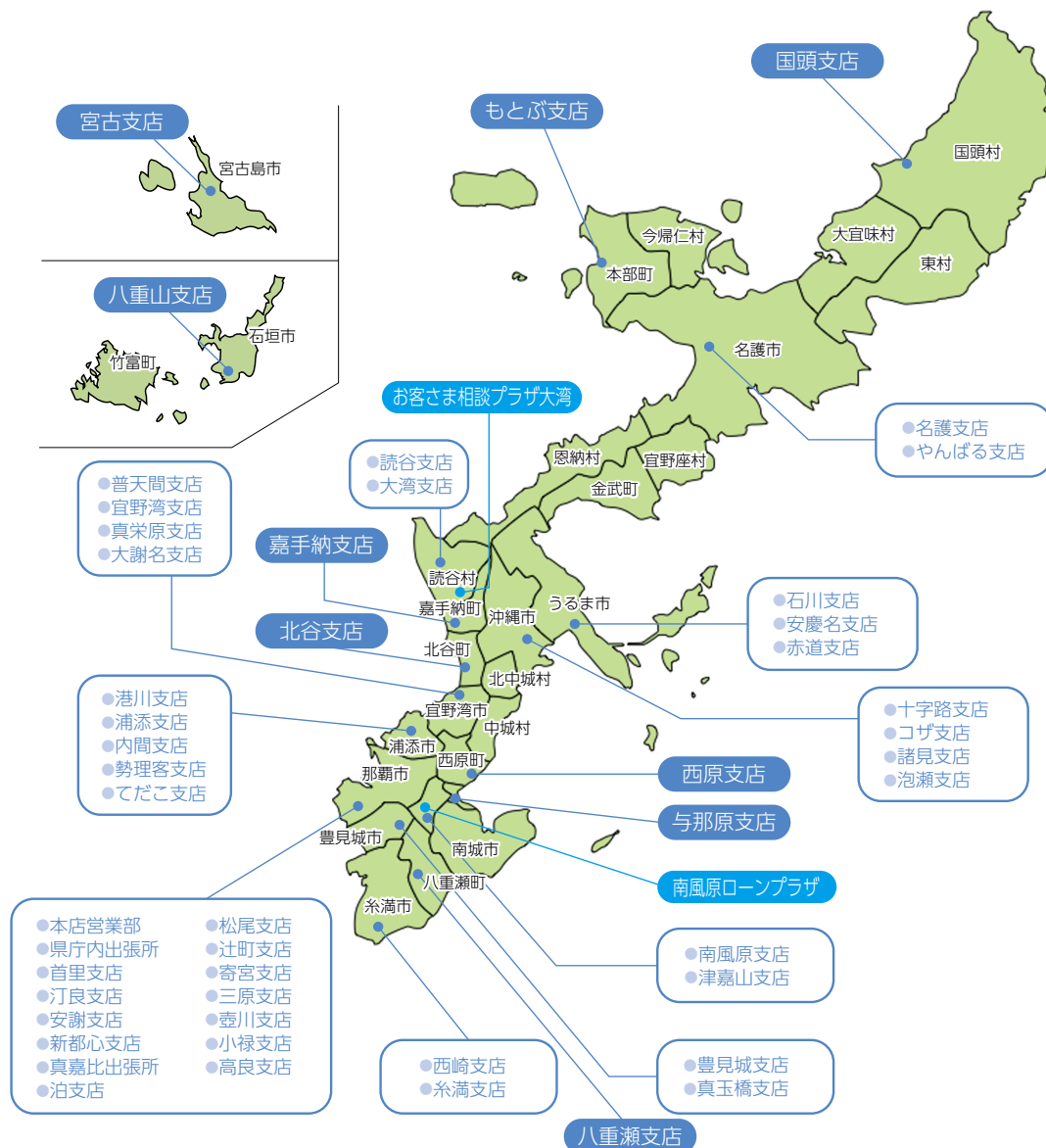
(注)監査役 大嶺 満及び監査役 上江洲 智一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 株式のご案内 (2020年3月31日現在)

決算日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年決算日の翌日から3ヶ月以内に開催いたします。
配当金支払	利益配当金は毎年3月31日現在の株主名簿に記載の株主または登録質権者に定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 また、中間配当を行う場合は取締役会の決議により、9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対しお支払いいたします。 なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込をご指定くださいますと速くて便利です。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三井住友信託銀行株式会社 全国本(各)支店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
株式取扱手数料	株式名義書換…無料 不所持申出株券の発行または返還…株券1枚につき300円 新株券交付…株券1枚につき300円

# かいぎんのネットワーク (2020年3月末現在)

50 店舗 (うち出張所 2 店舗) 2 プラザ



南風原ローンプラザ：☎0120-07-4780

お客さま相談プラザ大湾：☎0120-61-8560

---

<https://www.kaiho-bank.co.jp>

2020年6月発行

株式会社 沖縄海邦銀行 総合企画部

〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2-9-12 TEL098-867-2112

---

# Beyond the Bank

あなたの明日へ

OKINAWA  
KAIHO 海邦銀行



UD  
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた  
見やすいデザインの文字を採用しています。